

2023年8月18日
セミナー委員会

2023年8月15日 セミナー委員会 議事録（最終版）

1. 開催日時 2023年8月15日（火） 15:00～17:00
2. 開催場所 三菱商事パッケージング株式会社
3. 出席者 嶋会長／未来包装研究委員会：島田委員長／セミナー委員会：及川委員長、
小林（浩）理事、下村理事、北島理事、橋本（議事録作成） 出席者計7名

4. 議事内容

（1）2023年度包装技術セミナー開催の方向性

開催の方向性について議論を行った。その内容は次の通り。

1) 開催回数・日時・場所：2023年度に1回開催（その後は様子を見て開催を検討）

2023年10月6日（金）15:20受付/15:45～17:00セミナー・当会案内/近隣の飲食店での懇親会

⇒ JAPAN PACK 開催最終日にあたる。関東圏以外の方が、JAPAN PACK で東京に出たついでに参加しやすいと考え、開催最終日の金曜日を選んだ。

場所第1候補 中央区の区民会館・・・適切な会議室を選ぶ（及川委員長）⇒渡辺理事に予約相談

第2候補 第1候補が確保できなかった際は三菱商事パッケージング社会議室で開催（予約済）

着席で最大80名が入れる部屋。40名だとゆったり。

2) 招待対象：直近5年間の入会者

包装専士講座2018年度（2019年3月卒）～2022年度（2023年3月卒）

当日の人数は、理事と入会者で30名程度になることを想定した。

3) セミナータイトル：2023年度包装技術セミナー（仮）

4) 内容詳細：（タイムスケジュールは一例）

①挨拶

②セミナー 2023年1月12日第4回CLOMA技術セミナー内容アレンジ 島田委員長（①②で50分）

「より良い包装未来の姿と生活者起点の協業・協働について ～欧米動向を参考に～」

③当会の案内 嶋会長・今田事務局長

④名刺交換

⑤挨拶（③④⑤で25分）

⑥片付け（5分）

⑦懇親会 希望者のみ、会場近くの飲食店で懇親会を実施する。

※島田委員長の資料は、会議室の規模によって、後方席の方には文字が見えにくくなる可能性がある。紙出力物配布は必要そう。

配布ができるように、情報引用元に許可を取ることが必要。

5) 招待者への案内するための事前準備：

①対象者名簿を渡辺理事から入手する（及川委員長）

②場所を含めた案内文のたたき台作成（及川委員長）⇒委員内で遂行（セミナー委員）

③9月19日の理事会までに、理事に当企画をメール回議し承認を得る（及川委員長）

④③がすんだら②の案内文を対象者へメール配信する（担当_____）

（2）当会会員サービスの促進

1) 会員が求めるものは「仲間づくり」「専門性」

*（例えばセミナーに申込みいただく際）新入会者に対し、当会に期待する事柄を記載してもらってはどうかという意見が挙がった。これに対し、いきなり聞いても意見をうまく引き出すのは難しいとの意見があった。

*そこで、視点を変え、会議参加者に、ひとりひとりの入会理由をホワイトボードへ書きだした。その結果、会議参加者の2大キーワードは2点、「仲間づくり」「専門性」とわかった。ホワイトボード画像は2頁参照。

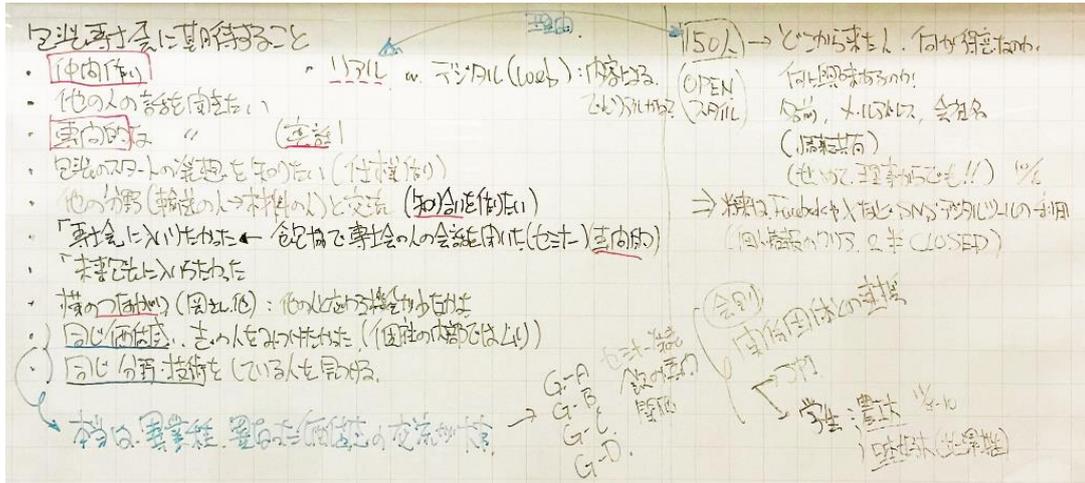
*新入会者もそれに似た期待を抱いていると仮定し、それを特長とする組織を今後構築してはどうかと意見がまとまった。

2) 「仲間づくり」「専門性」に特化した組織の構築にあたり

* 会員が約 150 名在籍している。個々の会員について、何が得意で何に興味があるなどわかると、仲間づくりや専門性で特化した組織としての活動発展につながり、活性化するのではないかと意見が挙がった。

* そのためには、必要最小限の個人情報を開示することは必要ではないか。具体的には次の 2 案を考える。

- ① 理事の名簿公開案：10月6日のセミナーで、理事名簿を公開してはどうか。← 事前に理事に了解を得るためには9月理事会の議題にあげることがマスト。
- ② 全会員の必要最小限の個人情報を開示する案：会員全員に対し、全会員の情報公開是非についてのアンケートを取ってよいか、今後の理事会で議論をする。例えば、氏名、勤務先名称、何の業務を担当しているかという3項目などに限定して質問し、公開してよい内容のみリストに載せるなどを想定している。



ホワイトボード記録

(3) 新概念セミナー

来年度の具体的な内容の言及には至っていないが、2023年10月6日開催のセミナーの開催結果を考察し、具体的計画を立案したい。

ひとつの案として、会員 150 名限定を前提とし、「まず、理事が自分の得意分野の話を 20~30 分する」とあった。

以上